

教科	数学	科目名	数学 A		
学年	1 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研 新編数学 A				
	【副教材】 数研 チャート式基礎と演習数学 I +A 数研出版 3TRIAL 数学 I +A				

○学習目標

○場合の数と確率、整数の性質または図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

○事象を数学的に考察する能力を養い、数学よさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評 価

○定期考査（中間・期末）

○提出物（学習プリント、ノートなど）

○平常の学習状況（授業に取り組む姿勢、出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第1節 場合の数 1. 集合の要素の個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 組合せ 第2節 確率 5. 事象と確率 6. 確率の基本性質 7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率 9. 期待値	○場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ○確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
2	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心・内心・重心 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 2つの円 7. 作図 第2節 空間図形 第2節 空間図形 8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体	○平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ○空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。

3	第3章 数学と人間の活動 1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解 3. 最大公約数・最小公倍数 4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式 7. 記数法 8. 座標の考え方 9. ゲーム・パズルの中の数学	○さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。
---	---	---

教科	数学	科目名	数学 I		
学年	1 年	類・コース	グローバル特進	単位数	3
使用教材	【使用教材】 数研出版 新編 数学 I				
	【副教材】 数研 チャート式基礎と演習数学 I +A 数研出版 3TRIAL 数学 I +A				

○学習目標

数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査（中間・期末） 小テスト

提出物（学習プリント，ノート等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 数と式 1 節 式の計算 2 節 実数 3 節 1 次不等式 2 章 集合と論証 2 節 命題と論証	文字式の計算、一次・二次方程式、因数分解ができる。 式など，基本的な計算ができる。 自然数，整数，有理数，無理数，実数の意味を理解する。 平方根を含む式の計算ができる。 不等式の意味・性質を理解し，不等式を解くことができる。 命題の逆，裏，対偶を理解する。
2	3 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ 2 節 2 次方程式と 2 次不等式	2 乗に比例する関数の性質を復習し，2 次関数を理解する。 2 次関数の最大・最小について理解を深める。また，与えられ条件から，その 2 次関数を決定できる。 2 次方程式の解を求めることができる。 2 次不等式を含む連立不等式を解くことができる。
3	4 章 図形と計量 1 節 鋭角の三角比 2 節 三角比の拡張 3 節 三角形への応用 5 章 データの分析 1 節 データの整理と分析 2 節 データの相関	三角比としての正接，正弦，余弦の意味を理解する。 正弦定理・余弦定理を理解し，活用できる。 三角形の面積を求めることができる。 三角比を空間図形の計量に応用できる。 資料の特徴や傾向をとらえるために，データを整理するという概念を理解する。

教科	数学	科目名	数学 I		
学年	1 年	類・コース	看護科	単位数	3
使用教材	【使用教材】 数研出版 新編 数学 I				
	【副教材】 数研出版 3TRIAL 数学 I				

○学習目標

数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査（中間・期末） 小テスト

提出物（学習プリント，ノート等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 数と式 1 節 式の計算 2 節 実数 3 節 1 次不等式 2 章 集合と論証 2 節 命題と論証	文字式の計算、一次・二次方程式、因数分解ができる。 式など，基本的な計算ができる。 自然数，整数，有理数，無理数，実数の意味を理解する。 平方根を含む式の計算ができる。 不等式の意味・性質を理解し，不等式を解くことができる。 命題の逆，裏，対偶を理解する。
2	3 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ 2 節 2 次方程式と 2 次不等式	2 乗に比例する関数の性質を復習し，2 次関数を理解する。 2 次関数の最大・最小について理解を深める。また，与えられ条件から，その 2 次関数を決定できる。 2 次方程式の解を求めることができる。 2 次不等式を含む連立不等式を解くことができる。
3	4 章 図形と計量 1 節 鋭角の三角比 2 節 三角比の拡張 3 節 三角形への応用 5 章 データの分析 1 節 データの整理と分析 2 節 データの相関	三角比としての正接，正弦，余弦の意味を理解する。 正弦定理・余弦定理を理解し，活用できる。 三角形の面積を求めることができる。 三角比を空間図形の計量に応用できる。 資料の特徴や傾向をとらえるために，データを整理するという概念を理解する。

教科	数学	科目名	数学 A		
学年	2 年	類・コース	看護科	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研 新編数学 A				
	【副教材】 数研出版 3TRIAL 数学 A				

○学習目標

- 場合の数と確率，整数の性質または図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- 事象を数学的に考察する能力を養い，数学よさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

○評 価

- 定期考査（中間・期末）
- 提出物（学習プリント，ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第 1 節 場合の数 1. 集合の要素の個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 組合せ 第 2 節 確率 5. 事象と確率 6. 確率の基本性質 7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率 9. 期待値	○場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。 ○確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。
2	第 2 章 図形の性質 第 1 節 平面図形 1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心・内心・重心 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 2 つの円 7. 作図 第 2 節 空間図形 第 2 節 空間図形 8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体	○平面図形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。 ○空間図形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。

3	第3章 数学と人間の活動 1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解 3. 最大公約数・最小公倍数 4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式 7. 記数法 8. 座標の考え方 9. ゲーム・パズルの中の数学	○さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。
---	---	---

教科	数学	科目名	数学Ⅱ		
学年	2 年	類・コース	看護科	単位数	1
使用教材	【使用教材】 数研出版 新編 数学Ⅱ				
	【副教材】 数研出版 3TRIAL 数学Ⅱ				

○学習目標

いろいろな式、図形と方程式の考えについて理解させ、基礎的な知識と技能の習得を図る。
事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査(中間・期末)
小テスト
提出物(学習プリント、課題等)
平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 式と証明 1 節 式と計算 2 節 等式・不等式の証明	・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則演算が理解できる。
2	2 章 高次方程式 1 節 複素数と2次方程式の解 2 節 高次方程式	・ 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・ 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解けるようにする。 ・ 因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。
3	3 章 図形と方程式 1 節 点と直線	・ 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識する。

教科	数学	科目名	数学 A		
学年	1 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 新高校の数学 A				
	【副教材】 教科書学習ノート 数学 A				

○学習目標

- 場合の数と確率，整数の性質または図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- 事象を数学的に考察する能力を養い，数学よさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

○評 価

- 定期考査（中間・期末）
- 提出物（学習プリント，ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数 2 節 確率	○和の法則，積の法則を認識し，順列・組合せの意味を理解し，計算ができる。 ○試行と事象，事象の確率について学び，和事象・積事象，排反事象，確率の基本性質，確率の加法定理，和事象の確率，余事象とその確率を求めることができる。 ○独立な試行の確率，反復試行の確率を理解する。 ○条件つき確率と確率の乗法定理を理解する。
2	2 章 図形の性質 1 節 平面図形 2 節 空間図形	○基本的な作図及び，平行な直線や線分の内分点・外分点などの作図ができる。 ○三角形の内角の二等分線と比，外角の二等分線と比，重心・外心・内心，外接円，内接円，チェバの定理，メネラウスの定理を理解する。 ○円の基本性質を理解し，直角三角形の内接円の半径を求め，接線と弦のつくる角の定理の証明を考えることができる。 ○方べきの定理を理解する。
3	3 章 数学と人間の活動 1 約数と倍数 2 ユークリッドの互除法 3 2 進法 4 点の位置の表し方 5 数学とゲーム・パズル	○倍数の判定方法，素数と合成数の違いから素因数分解についての理解を深める。 ○ユークリッドの互除法を理解し二つの整数の最大公約数を求められる。 ○不定方程式の解の意味について理解し，その解を求めることができる。 ○記数法の仕組みを見直し n 進法についての理解を深める。

教科	数学	科目名	数学 I		
学年	1 年	類・コース	未来開進	単位数	3
使用教材	【使用教材】 数研出版 新高校の数学 I				
	【副教材】 教科書学習ノート 数学 I				

○学習目標

数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査（中間・期末） 小テスト

提出物（学習プリント，ノート等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第 1 章 数と式 第 1 節 数と式の計算 第 2 節 1 次不等式	式など，基本的な計算ができる。 自然数，整数，有理数，無理数，実数の意味を理解する。 平方根を含む式の計算ができる。 不等式の意味・性質を理解し，不等式を解くことができる。
2	第 2 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数のグラフ 第 2 節 2 次関数の値の変化 第 3 章 図形と計量 第 1 節 三角比	2 乗に比例する関数の性質を復習し，2 次関数を理解する。 2 次関数の最大・最小について理解を深める。また，与えられ条件から，その 2 次関数を決定できる。 2 次方程式の解を求めることができる。 2 次不等式を含む連立不等式を解くことができる。 三角比としての正接，正弦，余弦の意味を理解する。
3	第 3 章 図形と計量 第 2 節 三角形への応用 第 4 章 集合と命題 第 5 章 データの分析	正弦定理・余弦定理を理解し，活用できる。 三角形の面積を求めることができる。 三角比を空間図形の計量に応用できる。 集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それを事象の考察に活用できるようにする。 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力，目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力などを養う。

教科	数学	科目名	数学 I		
学年	1 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	3
使用教材	【使用教材】 数研出版 新高校の数学 I				
	【副教材】 教科書学習ノート 数学 I				

○学習目標

数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査（中間・期末） 小テスト

提出物（学習プリント，ノート等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第 1 章 数と式 第 1 節 数と式の計算 第 2 節 1 次不等式	式など，基本的な計算ができる。 自然数，整数，有理数，無理数，実数の意味を理解する。 平方根を含む式の計算ができる。 不等式の意味・性質を理解し，不等式を解くことができる。
2	第 2 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数のグラフ 第 2 節 2 次関数の値の変化 第 3 章 図形と計量 第 1 節 三角比	2 乗に比例する関数の性質を復習し，2 次関数を理解する。 2 次関数の最大・最小について理解を深める。また，与えられ条件から，その 2 次関数を決定できる。 2 次方程式の解を求めることができる。 2 次不等式を含む連立不等式を解くことができる。 三角比としての正接，正弦，余弦の意味を理解する。
3	第 3 章 図形と計量 第 2 節 三角形への応用 第 4 章 集合と命題 第 5 章 データの分析	正弦定理・余弦定理を理解し，活用できる。 三角形の面積を求めることができる。 三角比を空間図形の計量に応用できる。 集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それを事象の考察に活用できるようにする。 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力，目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力などを養う。

教科	数学	科目名	数学Ⅱ		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進・St	単位数	4
使用教材	【使用教材】 数研出版 新編 数学Ⅱ				
	【副教材】 数研出版 3TRIAL 数学Ⅱ				

○学習目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識と技能の習得を図る。
 事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査(中間・期末)
 小テスト
 提出物(学習プリント、課題等)
 平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 式と証明 1 節 式と計算 2 節 等式・不等式の証明 2 章 複素数と方程式 1 節 複素数と 2 次方程式の解 2 節 高次方程式 3 章 図形と方程式 1 節 点と直線	・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則演算が理解できる。 ・ 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・ 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して 2 次方程式を解けるようにする。 ・ 因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようになる。 ・ 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識する。
2	3 章 図形と方程式(続き) 2 節 円 3 節 軌跡と領域 4 章 三角関数 1 節 三角関数 2 節 加法定理 5 章 指数関数・対数関数 1 節 指数関数 2 節 対数関数	・ 座標や式を用いて、円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・ 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・ 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
3	6 章 微分と積分 1 節 微分係数と導関数 2 節 関数の値の変化 3 節 積分法	・ 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を理解するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

教科	数学	科目名	数学 B		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進・St	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研 最新数学 B				
	【副教材】 数研 3ROUND 数学 B				

○学習目標

数列，確率分布と統計的な推測について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察表現する能力を養う。

○評 価

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト
- 提出物（学習ノート，ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 数列 1 節 数列とその和 2 節 漸化式と数学的帰納法	・等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めること。 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 ・漸化式について理解し，簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 ・自然数の性質などを見いだし，それらを数学的帰納法を用いて証明する。
2	2 章 統計的な推測 1 節 確率分布 2 節 統計的な推測	・確率変数と確率分布について理解すること。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解すること。 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解すること。 ・確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察すること。 ・目的に応じて標本調査を設計し，母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに，標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。
3	3 章 数学と社会生活 1 節 数学を用いた考察 2 節 社会で用いられる数値や目標 3 説 変化をとらえる	・社会生活などにおける問題を，数学を活用して解決する意義について理解すること。 ・日常の事象や社会の事象などを数学化し，数理的に問題を解決する方法を知ること。 ・数学化した問題の特徴を見いだし，解決すること。 ・問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察すること。 ・解決過程を振り返り，そこで用いた方法を一般化して，他の事象に活用すること

教科	数学	科目名	数学Ⅱ		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進・Sc1・Sc2	単位数	4
使用教材	【使用教材】 数研出版 新編 数学Ⅱ				
	【副教材】 数研出版 3TRIAL 数学Ⅱ+B				

○学習目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識と技能の習得を図る。
 事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査(中間・期末)
 小テスト
 提出物(学習プリント、課題等)
 平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 式と証明 1 節 式と計算 2 節 等式・不等式の証明 2 章 複素数と方程式 1 節 複素数と2次方程式の解 2 節 高次方程式 3 章 図形と方程式 1 節 点と直線	・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則演算が理解できる。 ・ 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・ 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解けるようにする。 ・ 因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・ 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識する。
2	3 章 図形と方程式(続き) 2 節 円 3 節 軌跡と領域 4 章 三角関数 1 節 三角関数 2 節 加法定理 5 章 指数関数・対数関数 1 節 指数関数 2 節 対数関数	・ 座標や式を用いて、円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・ 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・ 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
3	6 章 微分と積分 1 節 微分係数と導関数 2 節 関数の値の変化 3 節 積分法	・ 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を理解するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

教科	数学	科目名	数学 B		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進・Sc1・Sc2	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研 新編数学 B				
	【副教材】 数研 3TRIAL 数学Ⅱ＋B				

○学習目標

数列，確率分布と統計的な推測について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察表現する能力を養う。

○評 価

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト
- 提出物（学習ノート，ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 数列 1 節 等差数列と等比数列 2 節 いろいろな数列 3 節 漸化式と数学的帰納法	・等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めること。 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 ・漸化式について理解し，簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 ・自然数の性質などを見いだし，それらを数学的帰納法を用いて証明する。
2	2 章 統計的な推測 1 節 確率分布 2 節 統計的な推測	・確率変数と確率分布について理解すること。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解すること。 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解すること。 ・確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察すること。 ・目的に応じて標本調査を設計し，母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに，標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。
3	3 章 数学と社会生活	・社会生活などにおける問題を，数学を活用して解決する意義について理解すること。 ・日常の事象や社会の事象などを数学化し，数理的に問題を解決する方法を知ること。 ・数学化した問題の特徴を見いだし，解決すること。 ・問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察すること。 ・解決過程を振り返り，そこで用いた方法を一般化して，他の事象に活用すること

教科	数学	科目名	数学Ⅱ		
学年	2 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 高校数学Ⅱ				
	【副教材】 実教出版 ステップノート 数学Ⅱ				

○学習目標

複素数と方程式、図形と方程式、の考えについて理解させ、基礎的な知識と技能の習得を図る。
事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査(中間・期末)
小テスト
提出物(学習プリント、課題等)
平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 複素数と方程式 1 節 式の計算 2 節 複素数と 2 次方程式	・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則演算が理解できる。 ・ 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して 2 次方程式を解けるようにする。
2	1 章 複素数と方程式(続き) 3 節 高次方程式 4 節 式と証明	・ 整式の除法の理解と活用ができるようにする。 ・ 因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・ 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。
3	2 章 図形と方程式 1 節 点と座標 2 節 直線の方程式 3 節 円の方程式 4 節 不等式の領域	・ 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識する。 ・ 座標や式を用いて、円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

教科	数学	科目名	数学Ⅱ		
学年	2 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 高校数学Ⅱ				
	【副教材】 実教出版 ステップノート 数学Ⅱ				

○学習目標

複素数と方程式、図形と方程式、の考えについて理解させ、基礎的な知識と技能の習得を図る。
事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査(中間・期末)
小テスト
提出物(学習プリント、課題等)
平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 複素数と方程式 1 節 式の計算 2 節 複素数と 2 次方程式	・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則演算が理解できる。 ・ 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して 2 次方程式を解けるようにする。
2	1 章 複素数と方程式(続き) 3 節 高次方程式 4 節 式と証明	・ 整式の除法の理解と活用ができるようにする。 ・ 因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・ 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。
3	2 章 図形と方程式 1 節 点と座標 2 節 直線の方程式 3 節 円の方程式 4 節 不等式の領域	・ 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識する。 ・ 座標や式を用いて、円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

教科	数学	科目名	数学 B		
学年	2 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 最新数学 B				
	【副教材】 数研出版 パラレルノート 数学 B				

○学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。

数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

○評 価

確認テスト(中間・期末 時期実施)

小テスト

提出物(学習プリント、課題等)

平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 数列 1 節 数列とその和 2 節 漸化式と数学的帰納法	・等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 ・漸化式について理解し、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 ・自然数の性質などを見いだし、それらを数学的帰納法を用いて証明する。
2	2 章 統計的な推測 1 節 確率分布 2 節 統計的な推測	・確率変数と確率分布について理解すること。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解すること。 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解すること。 ・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 ・目的に応じて標本調査を設計し、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。
3	3 章 数学と社会生活 1 節 数学を用いた考察 2 節 社会で用いられる数値や目標 3 説 変化をとらえる	・社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解すること。 ・日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を知ること。 ・数学化した問題の特徴を見いだし、解決すること。 ・問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察すること。 ・解決過程を振り返り、そこで用いた方法を一般化して、他の事象に活用すること

教科	数学	科目名	数学探究		
学年	2 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 -				
	【副教材】 -				

○学習目標

数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

そのことから数学検定準 2 級の取得を目指す

○評 価

確認テスト考査(中間・期末 時期実施)

小テスト

提出物(学習プリント、課題等)

平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	数と式、集合と論証 場合の数、確率 の演習	○数と式の分野 文字式の計算、一次・二次方程式、因数分解、平方根、不等式 ○集合と論証分野 命題の逆，裏，対偶 ○場合の数の分野 和の法則，積の法則を認識し，順列・組合せの計算 ○確率の分野 試行と事象，事象の確率、和事象・積事象，排反事象，確率の 基本性質，確率の加法定理，和事象の確率，余事象とその確率 を求める。独立な試行の確率，反復試行の確率、条件つき確率 と確率の乗法定理の演習
2	2 次関数、2 次方程式、2 次不等式 図形の性質、平面図形、空間図形 の演習	2 次関数の性質、最大・最小、与えられ条件から 2 次関数を決定する。 2 次方程式の解を求める。 2 次不等式を含む連立不等式を解く。 平面図形の性質についての演習をする。 空間図形の性質についての演習をする。
3	図形と計量 データの分析 整数に関する問題 の演習	三角比に関する演習 正弦定理・余弦定理、三角形の面積、空間図形の演習をする データ分析の演習をする。 整数を中心とした数学的な要素に関する演習

教科	数学	科目名	数学 C		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進・St・Sc1	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研 最新数学 C				
	【副教材】 数研 3ROUND 数学 C				

○学習目標

ベクトル，複素数平面，式と曲線について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察表現する能力を養う。

○評 価

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト
- 提出物（学習ノート，ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第 1 章ベクトル 平面上のベクトル ベクトルと平面図形 空間のベクトル	○ベクトルの基本的な概念について理解する。 ・ 平面上のベクトル ・ ベクトルの応用 ・ 空間におけるベクトル ○簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解する。
2	第 2 章複素数平面 第 3 章式と曲線 2 次曲線 媒介変数表示と極座標	○複素数平面について理解する。 ・ 複素数平面 ・ 複素数の和と積 ・ 複素数の極形式 ・ ド・モアブルの定理 ・ 複素数と平面図形 ○式と曲線についての基本的な内容を理解する ・ 放物線 ・ 楕円 ・ 双曲線 ・ 2 次曲線の平行移動 ・ 2 次曲線と直線 ・ 曲線の媒介変数表示 ・ 極座標と極方程式
3	-	-

教科	数学	科目名	数学演習		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進・Sc1・Sc2	単位数	4
使用教材	【使用教材】 －				
	【副教材】 数研 シニア数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C				

○学習目標

正確で迅速な計算力を身につける

○評 価

定期考査（中間・期末）
小テスト
提出物（ワーク等）
平常の学習状況（授業に取り組む姿勢、出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	数と式 集合と命題 2 次関数 図形と計量 データの分析 場合の数と確率 図形の性質 整数の性質	正確で迅速な計算力を身につけ、解答をする
2	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分法・積分法 数列 統計的な推測 ベクトル	正確で迅速な計算力を身につけ、解答をする
3	－	－

教科	数学	科目名	数学 C		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進・Sc2	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研 新編数学 C				
	【副教材】 数研 3TRIAL 数学Ⅲ+C				

○学習目標

ベクトル，複素数平面，式と曲線について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察表現する能力を養う。

○評 価

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト
- 提出物（学習ノート，ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第 1 章ベクトル 平面上のベクトル ベクトルと平面図形 空間のベクトル	○ベクトルの基本的な概念について理解する。 ・ 平面上のベクトル ・ ベクトルの応用 ・ 空間におけるベクトル ○簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解する。
2	第 2 章複素数平面 第 3 章式と曲線 2 次曲線 媒介変数表示と極座標	○複素数平面について理解する。 ・ 複素数平面 ・ 複素数の和と積 ・ 複素数の極形式 ・ ド・モアブルの定理 ・ 複素数と平面図形 ○式と曲線についての基本的な内容を理解する ・ 放物線 ・ 楕円 ・ 双曲線 ・ 2 次曲線の平行移動 ・ 2 次曲線と直線 ・ 曲線の媒介変数表示 ・ 極座標と極方程式
3	-	-

教科	数学	科目名	数学Ⅲ		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進・Sc2	単位数	4
使用教材	【使用教材】 数研 新編数学Ⅲ				
	【副教材】 数研 3TRIAL 数学Ⅲ+C				

○学習目標

平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識と技能の習得を図る。
 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査(中間・期末)
 小テスト
 提出物(学習プリント、課題等)
 平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 平面上の曲線 1 節 2 次曲線 2 節 媒介変数表示と極座標 2 章 複素数平面 1 節 複素数平面 2 節 複素数の応用 3 章 関数と極限 1 節 関数 2 節 数列の極限 3 節 関数の極限	・平面上の曲線がいろいろな式で表されることを学び、事象の考察に活用できるようにする。 ・複素数平面について理解し、事象の考察に活用できるようにする。 ・数列や関数値の極限の概念を理解し、事象の考察に活用できるようにする。
2	4 章 微分 1 節 微分法 2 節 いろいろな関数の導関数 5 章 微分の応用 1 節 接線、関数の増減 2 節 いろいろな微分の応用 6 章 積分とその応用 1 節 不定積分 2 節 定積分 3 節 定積分の応用	・微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識して問題が解ける ・積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、問題が解ける。
3	-	-

教科	数学	科目名	数学Ⅱ		
学年	3 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 高校数学Ⅱ				
	【副教材】 実教出版 ステップノート 数学Ⅱ				

○学習目標

複素数と方程式、図形と方程式、の考えについて理解させ、基礎的な知識と技能の習得を図る。
事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査(中間・期末)
小テスト
提出物(学習プリント、課題等)
平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	3章 いろいろな関数 1 節 三角関数 2 節 加法定理/弧度法 3 節 指数関数 4 節 対数関数	・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
2	4章 微分と積分微分法 1 節 微分の考え 2 節 積分の考え	・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を理解するとともに、事象の考察に活用できるようにする。
3	-	-

教科	数学	科目名	数学 A		
学年	3 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 新高校の数学 A				
	【副教材】 教科書学習ノート 数学 A				

○学習目標

- 場合の数と確率, 整数の性質または図形の性質について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- 事象を数学的に考察する能力を養い, 数学よさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

○評 価

- 定期考査（中間・期末）
- 提出物（学習プリント, ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢, 出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数 2 節 確率	○和の法則, 積の法則を認識し, 順列・組合せの意味を理解し, 計算ができる。 ○試行と事象, 事象の確率について学び, 和事象・積事象, 排反事象, 確率の基本性質, 確率の加法定理, 和事象の確率, 余事象とその確率を求めることができる。 ○独立な試行の確率, 反復試行の確率を理解する。 ○条件つき確率と確率の乗法定理を理解する。
2	2 章 図形の性質 1 節 平面図形 2 節 空間図形	○基本的な作図及び, 平行な直線や線分の内分点・外分点などの作図ができる。 ○三角形の内角の二等分線と比, 外角の二等分線と比, 重心・外心・内心, 外接円, 内接円, チェバの定理, メネラウスの定理を理解する。 ○円の基本性質を理解し, 直角三角形の内接円の半径を求め, 接線と弦のつくる角の定理の証明を考えることができる。 ○方べきの定理を理解する。
3	-	-

教科	数学	科目名	数学Ⅱ		
学年	3年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 高校数学Ⅱ				
	【副教材】 実教出版 ステップノート 数学Ⅱ				

○学習目標

複素数と方程式、図形と方程式、の考えについて理解させ、基礎的な知識と技能の習得を図る。
事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査(中間・期末)
小テスト
提出物(学習プリント、課題等)
平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	3章 いろいろな関数 1節 三角関数 2節 加法定理/弧度法 3節 指数関数 4節 対数関数	・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
2	4章 微分と積分微分法 1節 微分の考え 2節 積分の考え	・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を理解するとともに、事象の考察に活用できるようにする。
3	-	-

教科	数学	科目名	数学探究		
学年	3 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 -				
	【副教材】 -				

○学習目標

数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

そのことから数学検定準 2 級の取得を目指す

○評 価

確認テスト(中間・期末 時期実施)

小テスト

提出物(学習プリント、課題等)

平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	数と式、集合と論証 場合の数、確率の演習	○数と式の分野 文字式の計算、一次・二次方程式、因数分解、平方根、不等式 ○集合と論証分野 命題の逆，裏，対偶 ○場合の数の分野 和の法則，積の法則を認識し，順列・組合せの計算 ○確率の分野 試行と事象，事象の確率、和事象・積事象，排反事象，確率の基本性質，確率の加法定理，和事象の確率，余事象とその確率を求める。独立な試行の確率，反復試行の確率、条件つき確率と確率の乗法定理の演習
2	2 次関数、2 次方程式、2 次不等式 図形の性質、平面図形、空間図形の演習	2 次関数の性質、最大・最小、与えられ条件から 2 次関数を決定する。 2 次方程式の解を求める。 2 次不等式を含む連立不等式を解く。 平面図形の性質についての演習をする。 空間図形の性質についての演習をする。
3	-	-